
第 311 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2015 年 2 月 20 日(金) 17時 30 分~18 時 30 分

場 所: 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 安井 利一 氏(明海大学・学長)

タイトル: 日本におけるスポーツ歯科の現状と将来

1. スポーツ歯科医学に関する法制度

- 1) スポーツ基本法
- 2) スポーツ基本計画
- 3) 学校保健安全法

2. スポーツ歯科医学の目的

- 1) スポーツによる国民の健康・安全づくりを支援する歯科医学的配慮
 - (1) 生涯スポーツをおこないやすくするための支援
 - (2) 高齢者の健康寿命の延伸のための支援
 - (3) 高齢者の転倒予防のための支援 など
- 2) 顎顔面口腔領域でのスポーツ外傷を予防するためのサポート
 - (1) 学齢期からの安全教育に対する支援
 - (2) マウスガードの普及啓発による予防支援 など
- 3) スポーツ競技力の維持・向上を支援するための歯科医学的配慮
 - (1) 咬合と競技力との関係
 - (2) 競技種目と歯列・咬合の特性
 - (3) 咬合挙上や咬合接触面積と競技力 など

3. スポーツと歯科医師の役割(学会認定医、日体協スポーツデンティスト)

- 1) スポーツ歯科医学の概要と役割を理解する。
- 2) スポーツ医・科学サポートを理解する。
- 3) スポーツのためのデンタルチェックを理解する。
- 4) 口腔顎顔面領域のスポーツ傷害(外傷と障害)の診断・治療・予防を理解する。
- 5) マウスガードの製作・調整・管理を理解する。
- 6) 咬合と全身の関わりを理解する。

4. スポーツ歯科医学の研究

- 1) 国民の健康づくりとしてのスポーツと歯科
 - 子どもの運動能力 転倒予防 ロコモティブシンドローム
- 2) マウスガードと外傷予防
 - 作製法、形態、違和感
- 3) パフォーマンス
 - 介入方法と評価 心技体

Matsumoto Dental University
Graduate School of Oral Medicine

1780 Gobara, Hirooka, Shiojiri,
Nagano 399-0781, Japan

略歴等

1977年3月 城西歯科大学卒業
1981年3月 城西歯科大学大学院博士課程修了
1997年7月 明海大学歯学部教授・同大学院教授
2002年4月 明海大学歯学部附属明海大学病院長(2006年3月まで)
2003年1月 明海大学歯学部 歯学部長(2008年3月まで)
2006年4月 明海大学 副学長(2008年3月まで)
2008年4月 明海大学 学長
日本スポーツ歯科医学会理事長、日本臨床スポーツ医学会常任理事、
国立スポーツ科学センター非常勤医師

担当:顎口腔機能制御学講座 鷹股 哲也